



# News letter

No. 87  
January.2022

発行  
国際公共経済学会事務局

〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1番25号 名古屋学院大学 伊藤昭浩研究室内  
TEL 052-678-4078(ダイヤルイン:2815) E-mail:japan@ciriec.com http://ciriec.com

今号の目次

1. 役員交代
2. 第10回春季大会のお知らせ
3. 「国際公共経済研究」第33号論文募集
4. 第36回研究大会、学会4賞報告
5. 事務局より

## 1. 役員交代

第36回研究大会で、理事改選が行われ、会長などが交代いたしました。新会長からご挨拶をいただきました。

### 会長あいさつ（中村 伊知哉 会員）



欧州・ベルギーに本部を置く CIRIEC（公共・共同経済研究情報国際センター）の日本支部として1985年に設立された国際公共経済学会。このたび第7代の会長に選出されました。37年の成果を誇る学会の一層の発展に微力を尽くす所存です。

毎年、冬季に開催される研究大会では、経済社会の重要な論点について議論を深めています。民営化、グローバル化、環境、震災・復興、地域再生などに関する具体的な課題を掘り下げ、政策形成につながる活動を続けてきました。

近年は春季大会も開かれ、若手による研究会も設けられてきました。隔年で開催される国際大会にも参加し、公企業や社会経済などの部門で議論や交流を深めてきています。

他方、世界はいま激動の最中にあります。米中の対立や英国のEU離脱など国際情勢が新局面を迎える一方、SDGsが世界共通の目標として認知されて新しい価値体系が模索され、資本主義や民主主義のあり方も議論となっています。

そして新型コロナが地球を覆いました。これを受け社会経済のDXは一気に進んでいますが、2年を経てなお人類は脱出の展望を得ていません。戦争や恐慌という人の営為ではない、自然が与える試練に対し、われわれはどのように向き合うべきか。

同時進行するAIやロボットによる超スマート社会は、狩猟・農耕・工業・情報に次ぐ第5の文明、Society5.0とされます。産業の革新にとどまらない、文明の転換点という認識に立ち、われわれは未来をどう展望すべきか。

この学会に問われている課題の質も変化しているはずです。

さして学会活動に親しく取り組んでいなかった私が指名にあずかったのは、こうした厄介な時期において次世代へバトンを渡す調整弁の役割が期待された緊急措置と認識しています。

そこで私が担うべきは、学会のこれまでの基盤を維持・発展させながら、次なる展開にギアを入れること。取り分け、時代が求める新しい問いを立てつつ、デジタル分野への取組み強化、若い世代の参加誘導、国際対応の強化を進めるといったことが考えられます。

理事・会員のみなさまの声を丁寧に伺いながら、内外の多くのかたがたと交流し、前を向いて漕ぎ始めたい。ご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

中村 伊知哉（情報経営イノベーション専門職大学）

## 2. 第10回春季大会のお知らせ

### 1. 春季大会について

テーマ：「ポストコロナ社会に向けて考える地域福祉」

日程：2022年3月19日(土)

会場：岡山県立大学（オンライン開催）

開催実行委員長：岩満 賢次（岡山県立大学）

開催実行委員：金子 勝規（大阪市立大学） 西藤 真一（島根県立大学）

柴田 学（関西学院大学） 田端 和彦（兵庫大学） <五十音順>

#### 【開催趣旨】

日本では、金融危機や災害、新型コロナウイルス感染症等により、人々の生活が大きく変化し、社会、経済的格差が高まっている。特に中国・四国地方は、人口減少も大きく、従来の人の暮らしを営むことが難しい地域も顕在化してきている。新型コロナウイルス感染症は、未曾有の危機である一方で、地方都市が抱えている人口流出、雇用喪失、少子高齢化に伴う地域福祉課題を再認識する機会となった。そのため、従来地域のつながりの強かった地方都市であっても、新しいつながりづくりが求められている。

一方で、地域福祉では、地域共生社会をスローガンとし、地域全体を見据えた新たな取り組みが見られるようになってきている。ポスト新型コロナウイルス感染症の時代における地方での人の生活と、それを支える地域団体の実践・研究の在り方について検討していきたい。

大会プログラム（案）【最新のプログラムは学会 HP でご確認ください】

9:30	受付開始
10:00~12:00	修士論文賞報告
10:00~12:00	一般・若手(大学院生)報告
12:10~13:00	理事会・修士論文賞審査
13:10~15:40	シンポジウム(パネルディスカッション) ①シンポジウム:ポストコロナ社会と地域共生社会 ②開催校企画:地域共生社会に向けた取り組み
15:50~16:20	総会

## 2. 修士論文賞の募集

春季大会で本学会の「修士論文賞」の審査、表彰を行います。以下の応募要領に即して、奮ってご応募ください。

修士論文を2021年度提出予定の院生の方および2019年度、2020年度に提出された院生に応募資格があります。応募者は学会員である必要はありませんが、学会員である指導教員の推薦が必要となります。対象者の方の応募を期待するとともに、修士論文を指導している学会員の先生方に、院生の応募を促していただきたいと存じます（推薦書様式は、下記HPからダウンロードしてください）。

リンク先：<http://ciriec.com/?p=467>

優秀論文として4点を顕彰し、3月の春季大会での報告を認めます。さらにその春季大会でのプレゼンテーション評価を加えて、最優秀論文1点を顕彰します。

- ・応募資格：上記の通り
- ・提出論文：本学会執筆要領による、修士論文および12,000字のフルペーパー（修士論文をまとめたもの）のWordファイルとPDFファイル（合計で4つのファイル）
- ・締め切り：2022年2月17日(木)
- ・提出先：学会事務局 [japan@ciriec.com](mailto:japan@ciriec.com)
- ・審査発表：2022年3月1日(火)  
※事前論文審査の結果は、本人と指導教員に通知します。
- ・優秀論文報告および最優秀論文審査、発表：2022年3月19日(土) 春季大会にて
- ・審査体制：審査委員長 草薙 真一（兵庫県立大学）

## 3. 春季大会一般・若手報告の募集

春季大会の一般・若手報告を募ります。以下の応募要領に即して、奮ってご応募ください。

- ① 応募資格：本学会員の一般会員及び大学院生（修士・博士課程）
- ② 発表を希望する方は、（1）氏名・所属・連絡先（住所、電話、メールアドレス）（2）報告テーマ、（3）報告要旨（1,000字程度）を、2022年2月17日(木)までに、下記の学会事務局宛に電子メールでお送りください。書式は自由です。発表の可否について、事務局で事前審査を行い、1週間以内にご連絡します。

宛先：学会事務局 [japan@ciriec.com](mailto:japan@ciriec.com)

フルペーパーの事前送付は必要ありません。学会誌への論文投稿希望者は、春季大会で発表すれば、学会誌への投稿が認められます。ただし、発表から投稿締切まで僅かな期間しかありません。発表時までに論文を作成しておくことをお勧めします。詳細は事務局にお問い合わせください。

### 3. 「国際公共経済研究」第33号論文募集

---

学会誌『国際公共経済研究』第33号（2022年9月発行予定）の投稿を募集します。査読論文、研究ノート、図書紹介、随筆等、広く募集しますので、奮ってご応募ください。

#### 1. 査読付き論文

当学会では、学会の水準向上のために、査読制度（レフェリー制度）を設けています。査読を通った論文が学会誌に掲載されます。

- ① 提出論文：本会執筆要領による、12,000字の論文、3部
- ② 締切：2022年3月31日(木) 消印有効（メールでは受け付けません）
- ③ 郵送先：〒456-8612 愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号

名古屋学院大学 商学部 伊藤昭浩研究室 国際公共経済学会事務局

※自由論題論文を投稿するには、毎年12月の研究大会、3月の春季大会、部会での報告が必須条件となります。

#### 2. 研究ノート、図書紹介、随筆等

事前登録の必要は、ありません。

- ① 字数：研究ノート12,000字程度、図書紹介1,500字程度（最大3,300字以内）随筆等適宜
- ② 締切：2022年4月16日(土) 消印有効（メールでは受け付けません）
- ③ 郵送先：〒456-8612 愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号

名古屋学院大学 商学部 伊藤昭浩研究室 国際公共経済学会事務局

※掲載にあたりましては、編集委員会が審査します。

### 4. 第36回研究大会、学会4賞報告

---

#### 1. 第36回研究大会報告

2021年12月11日(土)、12日(日)にオンライン開催にて、第36回研究大会が開催されました。

#### 2. 学会4賞の決定

〈学会賞〉応募者なし

〈尾上賞〉応募者なし

〈奨励賞〉受賞者なし

〈修士論文賞〉春季大会にて決定予定

## 5. 事務局より

---

### 1. 入退会員の紹介

#### ①入会

正会員 5 名（敬称略）

宇野 二郎	（横浜市立大学）	亀田 啓悟	（関西学院大学）
山本 将利	（横浜商科大学）	松本 秀暢	（関西学院大学）
堂前 光司	（関西外国語大学）		

学生会員 1 名（敬称略）

西川 順子	（東京工業大学）		

#### ②退会（4 名、1 社、2021 年 8 月以降）（敬称略）

小川 芳樹、入谷 貴夫、長谷部正道、加藤 恵正、KPMG コンサルティング

### 2. 新役員（2022 年度・2023 年度）

本会の役員が改選されました。

#### 会長

中村伊知哉（情報経営イノベーション専門職大学）

#### 副会長

金子 勝規（大阪市立大学）

草薙 真一（兵庫県立大学）

田端 和彦（兵庫大学）

西田 亮介（東京工業大学）

#### 顧問・名誉会長

仲上 健一（立命館大学）

#### 顧問

柴田 弘文（大阪大学名誉教授）

三浦 宏一（一般社団法人 WICC）

#### 事務局長

伊藤 昭浩（名古屋学院大学）

#### 常任理事

穴山 悌三（長野県立大学）

齊藤由里恵（中京大学）

#### 理事

穴山 悌三（長野県立大学）

有賀 敏之（大阪市立大学）

生貝 直人（一橋大学）

伊藤 昭浩（名古屋学院大学）

今村 肇（東洋大学）

植野 一芳（大東文化大学）

小熊 仁（高崎経済大学）

尾田 基（國學院大学）

柏木 恵（キャノングローバル戦略研究所）

片桐 徹也（東洋大学）

金子 勝規（大阪市立大学）

菊池 尚人（慶應義塾大学）

北島 健一（立正大学）

草薙 真一（兵庫県立大学）

楠田 昭二 (福山大学)	栗本 裕見 (大阪市立大学)
斎藤 文彦 (龍谷大学)	西藤 真一 (島根県立大学)
齊藤由里恵 (中京大学)	柴田 学 (関西学院大学)
高松 宏弥 (武蔵野大学)	竹澤 康子 (東洋大学)
巽 直樹 (KPMG コンサルティング株式会社)	田端 和彦 (兵庫大学)
手塚広一郎 (日本大学)	長峯 純一 (関西学院大学)
中村伊知哉 (情報経営イノベーション専門職大学)	西田 亮介 (東京工業大学)
西村 陽 (関西電力株式 110 会社)	野村 実 (大谷大学)
野村 宗訓 (関西学院大学)	花田 真一 (弘前大学)
久末 弥生 (大阪市立大学)	福田 晴仁 (桃山学院大学)
藤井 大輔 (東京交通短期大学)	前田 尚子 (関東学園大学)
松原 聡 (東洋大学)	森 由美子 (東海大学)
八木橋慶一 (高崎経済大学)	矢島 正之 (電力中央研究所)
安本 宗春 (追手門学院大学)	山田 航 (名古屋学院大学)
Pimprapa Yodtomorn (茨城キリスト教大学)	和田 尚久 (東洋大学)

#### 監事

水田 健一 (名古屋学院大学)	西川 直孝 (大阪市立大学)
-----------------	----------------

#### 各種委員会

第 36 回研究大会実行委員会 (2022 年度)

(委員長) 楠田 昭二 (福山大学)

国際公共経済研究第 33 号編集委員会 (2022 年度)

(委員長) 伊藤 昭浩 (名古屋学院大学)

学会 4 賞選考委員会 (2022 年度・2023 年度)

(委員長) 草薙 真一 (兵庫県立大学)

### 3. 年会費納入について

当学会は、2021 年 12 月 1 日より新年度に入りました。つきましては、2022 年度 (2021 年 12 月 1 日～2022 年 11 月 30 日) の個人会費 10,000 円 (大学院生は会費 5,000 円) を、同封しました振込用紙で納入をお願いいたします。会費未納の会員は、学会誌受領、大会参加、連携団体の会合出席等の会員サービスを受けられないことがありますので、ご注意ください。

#### 4. 今後の主な学会行事予定

- ・ 第 34 回 CIRIEC 国際大会

日 時： 2022 年 6 月 13 日(月) ～ 15 日(水)

会 場： スペイン・バレンシア

テーマ： New global dynamics in the post Covid era: challenges for the public, social and cooperative economy

ウェブサイト：

<https://www.ciriec.uliege.be/en/event-ciriec/33rd-ciriec-international-congress-valencia-spain-13-15-june-2022/>

- ・ 2022 年 12 月開催予定第 37 回研究大会について

日 程： 2022 年 12 月

会 場： 福山大学

テーマ： 検討中

実行委員長： 楠田 昭二 (福山大学)

☆学会情報は、最新のものをホームページ <http://ciriec.com/> に掲載してありますので、ご参照ください。

☆学会への連絡は、メール ([japan@ciriec.com](mailto:japan@ciriec.com)) か郵便にてお願いいたします。

## 国際公共経済学会論文執筆要領

- (1) 論文は、日本語または英文で書かれたものとして、図表を含め、12,000字以内とする。英語の場合は、日本語の枚数に換算する。表題・執筆者名・所属機関名・キーワード(5語程度)を日・英文で明記する。また、英文要旨(5行程度)を必ずつける。
- (2) 論文は、原則として横書きとし、ワープロ原稿とする。
- (3) 表記は、現代仮名遣い、常用漢字とする。
- (4) 本文に挿入する表・グラフ・地図等、文字以外の資料については、必ずそのまま原紙として使用できる状態で送付すること。挿入箇所を本文中に明示する。
- (5) 注は文中の肩に(注1)のように記し、論文末尾にまとめる。
- (6) 章・節は、1、2、1)、2)、(1)、(2)の記号による。
- (7) 引用文献は注記する。記載は以下の方法による。
  - 著書(単独)の場合執筆者名、[出版年月]、『書名』、出版社、引用ページ
  - 著書(複数)の場合執筆者名、[出版年月]、「論文名」、編集者名、『書名』、出版社、引用ページ
  - 論文の場合執筆者名、[出版年月]、「論文名」、『雑誌名』、巻号、引用ページ
- (8) 提出:事務局に郵送にて3部提出。
  - 学会事務局から、概ね1週間以内に受領メールを出します。
  - 返信のない方は、事務局までお問い合わせください。

## 学会賞規定、および執筆要領

### 修士論文賞規定

- 1(目的) 国際公共経済に関する大学院修士課程修士論文等を顕彰し、修士課程在籍者およびそれに準ずる者の学術的研究の奨励に資するため、国際公共経済学会修士論文賞を設け、優秀なる修士論文等を審査選定してこれに賞を授与し、その業績を顕彰する。なお、「修士論文等」および「修士課程在籍者に準ずる者」の詳細については、理事会で決定する。
- 2(表彰) 受賞は毎年4点以内とする。受賞者には、毎年3月に開催される「春季大会」での報告と、論文の学会誌掲載が認められ、優秀賞の賞状を授与する。さらにそのうち1点を、最優秀賞とし、賞状と記念品を授与する。
- 3(論文の応募資格) 当該年度修士論文等の提出予定者  
なお、修士論文賞応募者については、学会員であることは不要とするが、「学会員である指導教官の推薦書」を必要とする。
- 4(応募論文) 応募論文は、修士論文を12,000字以内にまとめたフルペーパーとする。
- 5(公募) 本賞は、毎年1月に公募を開始し、2月10日に締め切る。公募の詳細については、審査委員会において決定する。
- 6(審査) 審査委員会は、応募論文を審査し、3月1日までに4点以内の受賞作を決定し、発表する。また、この受賞作の春季大会での報告のプレゼンテーションを審査し、論文審査と総合して最優秀賞を決定する。
- 7(報告) 研究会において審査委員長は、審査の経過を報告して、会長は対象作に賞を授与する。また、学会機関誌等でこれを公表する。